

2022 10月 町内会だより

tamagawagakuen-chounaikai 町田市玉川学園 2-19-5
玉川学園町内会 月曜日～金曜日 10:00～16:00
※年末年始を除きます
Tel/Fax : 042-725-0438 t-chounaikai194@bz03.plala.or.jp
https://tamagawagakuen-chonaikai.net (※QRコードもご利用ください)

ホームページ
アクセス



秋のイベントのご案内

コミュニティ部

秋の子どもまつりは新型コロナウイルスの感染拡大防止のため2年間中止となってしまいましたが、今年は再開されます。**みんな遊びに来てね!!**

秋の子どもまつり 10月23日(日) 10時～14時(予定)
町田第五小学校 校庭(雨天時は体育館)
※昔あそびは「多目的室」

昔あそび ※昔あそびは「多目的室」
!!ご近所さんとたまリンピック!!

おはじき・こま・ベーごま・羽子板・けん玉
竹馬・あやとり・お手玉・メンコ・将棋

町内会
コーナー

ハロウィン 10月30日(日) **ポケットパーク**
商店会中程(北口)

今年も商店会といっしょにハロウィンのイベントをするよ!!
詳細は後日ホームページにてお知らせします。楽しみにしていてね!

防犯カメラ設置のお知らせ

こすもす会館

この度、こすもす会館の玄関右側、掲示板後ろの外灯の下、勝手口の3ヶ所に防犯カメラ(通称ケロカメ)を設置しました。24時間稼働しています。カメラの上には、カエルのライト、「ケロカメライト」が取り付けられており、夜でもカメラの存在をアピールしています。

この「ケロカメ」はこすもす会館の防犯のみならず、地域の見守りも兼ね備えた防犯カメラです。会館前の歩道は、子ども達の通学路になっています。また、玉ちゃんバスの停留所もあり、会館利用者も含めると道路横断者が多い場所です。そのため、歩道・道路もカメラで見守っています。「ケロカメ」が安心・安全な地域づくりの一助になれば幸いです。

地域の登下校見守り強化月間について

広報部

= 町田第五小学校校外サポーターからの寄稿 =

共催：町田第五小学校校・町田第3高齢者支援センター・玉川学園町内会

町田第五小学校では、今年度より登下校時の児童の見守りを強化する為、4月に引き続き、夏休み明けの9月にも地域の皆様のお力添えのもと見守り強化月間を実施致しました。



さらに9/1～9/10は、見守り強化ウィークとして、校門前にて数名のサポーターが旗振りを行い、命を守るために大切な交通ルールの確認を各家庭で行ってもらうよう、保護者は通学路安全チェックシートを見て、付き添いながら歩きました。

学校周辺では、地域の方々が正門や黄色門、5丁目四叉路ポスト前や中央幼稚園前交差点などの交通量の多い危険箇所で見守っていただきました。活動へのご協力に、この場を借りてお礼申し上げます。

実際に見守り活動を行って初めての感想としましては、最初の頃は挨拶も少なく目線が合うことも少なかったですが、日に日に緑帽子やチョッキを身につけている人達は見守りの人と覚えてくれたのか、目線を合わせて挨拶してくれる児童も増えてきました。顔見知りになり、信頼関係を作ることがとても大切だと感じました。今後も、見守りサポーターを募集し、続けていけたらと思っています。

また、もう一つの校外活動として8/7にコミュニティセンターにて、重要危険箇所としてあがってきている5丁目四叉路ポスト前について保護者と地域住民の皆様と、安全対策についての相談会も行いました。交通量の多いこの箇所は、いつ事故が起きてもおかしくない場所であることを皆で確認し、何が出来るのかを今後も継続的に相談・対策を行っていく予定です。通学路の危険箇所はたくさんあります。一部の方だけではなく、大勢の方のお力が必要です。保護者、学校、地域の皆様、ご協力をよろしくお願いいたします。

※5丁目四叉路ポスト前(元坂元商店前から呼称変更されました)



町内会 子ども記者クラブ

芸術の秋 子ども作品

イラスト・フラワーアレンジメント・書をご紹介します。

ペンネーム：れまさん(3年生) テーマ「夏休みの日記」

イラスト

イラスト、マンガを描くのが大好きで鉛筆を持つとすぐにストーリーが頭に浮かぶようです。仲良しの弟さんといつも一緒に過ごすことが多かった夏休み、そんな日常のエピソードを描いていただきました。ペンネームは将来、ユーチューブに投稿するときにつける名前だそうです。



楽しい夏休みだったねー



かき氷

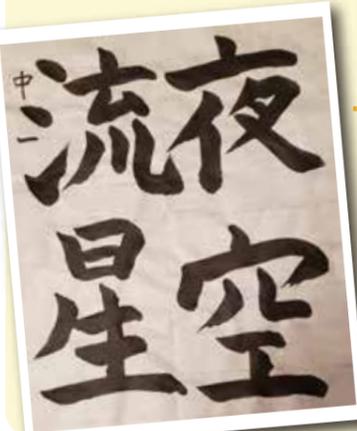


フラワーアレンジメント

ニックネーム：紫の月(3年生)

「季節のフラワーアレンジメント」

フラワーアレンジメントのレッスンで、イースター、ハロウィン、クリスマスなどその季節にあったアレンジをしています。日頃から草花に触れているからでしょうか、ある時、風にゆれる葉っぱを見て「葉っぱが手を振って応援してくれているよ」とまるで葉っぱとお友達の様です。



ペンネーム：Meteor(中学1年生)

書道

「夜空流星」

部活を終えて、ちょっと気分を変え、筆を持ったら違う世界へひとつ飛び!

素敵な作品ありがとう!!
ワクワクしちゃった☆



さくらんぼホールの花壇にお花を植えました | 広報部

毎年、さくらんぼホール施設委員会（玉川学園町内会、玉川学園第一住宅自治会、玉川学園興人自治会、玉川学園松風台自治会、桜ヶ丘自治会）は町田市花壇コンクールに参加して「花の香りの漂う美しいまち」を広げていくための活動もしています。

7月3日に町田市営下小山田苗圃で育てられた小さな草花の苗と土と肥料が提供され、夏の植え付けをおこないました。車で苗を受け取りに行く間に、花壇の土を耕す人、また熱中症にならないように、冷たい飲み物を用意される人、すぐに植えられるように連携プレーでの作業。前もって考えられたガーデンデザインのモチーフを見ながら、マリーゴールド、サルビア、センニチコウなど数種類のお花の苗をみんなで手分けして植えました。家族揃っての参加もあり、お父さん、お母さんと一緒に苗を一つひとつ、そっと手に取り根元が崩れないように土の穴の中に入れます。一方、男の子達は大きな水鉄砲で水やりを楽しんでいました。

さくらんぼホールを利用して帰られる方達は「いつもきれいなお花をありがとう」と声をかけてくださり、お互い笑顔になっていました。花には人を笑顔にする力があります。



夏が過ぎようとしている今、花は満開です。長年、ずっと花壇の手入れのお世話をされている方は夏は毎日の水やり、草取りと植物が少しでも快適に過ごせるよう季節に応じて日頃から環境を整えてくださっています。



これからは、落ち葉の季節、掃き集められた葉っぱは堆肥や焚き火にするため、子ども広場のフェンス脇にあるコンポストで保存されます。落ち葉のお掃除にご協力いただける方、温かい飲み物をご用意してお待ちしています。

地域コミュニティの紹介 | コミュニティ部

玉川学園西寿会

玉川学園西寿会（せいじゅかい）は高齢者の健康、福祉の増進、会員相互の友愛活動を通じ、コミュニケーションの深化を図ることを目的に昭和39年から活動を始めています。

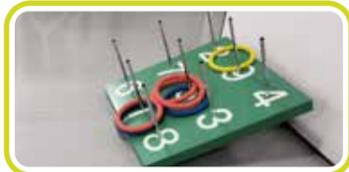
9月9日の活動日に、輪投げをされている様子を見学し、リーダーの会長はじめ参加者の方にもインタビューをさせていただきました。会員は30名、スタッフ8名で、現在はコミュニティセンターで第2、第4金曜日、2時間活動しています。活動内容はピアノ演奏に合わせての合唱、ハーモニカ演奏、輪投げ、ボッチャ、健康や環境についての勉強会、詩吟、食事会、町田市老人クラブ連合会での輪投げ大会に参加、作品展に出品など。



当日は9月に誕生日を迎える方達へのプレゼントの贈呈と会長からの連絡事項のお話が終わると、70歳～95歳まで13名の方が輪投げの競技に打ち込んでいました。国際輪投げ協会公式輪投げ用具から決められた距離に、投輪ラインがあります。そのラインの前に片手で9個のリングを持ち、凜とした表情で立ちます。ある方はリングを投げるスピードは90歳代とは思えないほど早く、目標を定めて投げるフォームにも力強さを感じました。仲間が得点を挙げると拍手があり、皆様やる気満々です!!

インタビューでは参加者の方に毎日どんな風にお過ごしですかと質問すると、毎日決められた時間に起き、ラジオ体操、ゆっくりと起きられる方も自分の決めたノルマのストレッチを毎朝こなし、お庭仕事（草むしりはお手のもの!）、ご夫婦でお散歩、ワンちゃんのお散歩、木彫り、カラオケ、折り紙、縫い物など様々な趣味をお持ちでした。

リーダーの方達は明るい笑顔で一緒に楽しみ、この会に参加される方の若さの秘訣は前向きに楽しむ心、人との繋がり、そして共に笑顔になれることだと思いました。



資源回収の報告 | 8月重量は 83.6 トンでした | 環境部

資源物は

収集当日の朝8時半までに出してください

※古紙・ダンボールは必ず紙ひもで括ってください
※古布は一度に出さず分散して出してください

資源物のお問い合わせは

町内会事務所または 大興資源へ

☎045-929-4813

資源物の不正な抜き取りを目撃した時は

日時、場所、回収車の車両番号などを町内会まで

☎725-0438

たま坂 ことこの葉

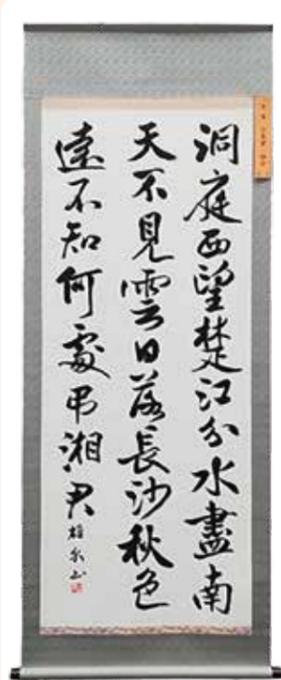


書道のこと I

私が書道始めたのは定年後の事である。現役時代は寧ろ悪筆で有名なほうだった。当時 PC やワープロソフトも未だ無い時代で、ビジネスに関する書類は手書きか、より公式なものは和文タイプを依頼したが、清書を頼むアシスタントやタイピストからは、せめて解読可能な原稿を上げてほしいと良くクレームされた。然様なこともあって一念発起通信教育の毛筆書道講座を受講したのだが、これが自分でも不思議な程ツボに嵌まって、三年ほどで最高位の漢字部門九段迄進むことが出来た。こうなると書道の面白味も分かってきて益々のめり込み、現在は旅行中や特段の用事がある日を除き、小一時間を書の稽古に充てるのが日課になっている。手が震えて筆

を持ってなくなる迄は此の趣味を続けるつもりである。どうせ熱し易く冷め易いの類いで、三日坊主で終わらうと予想していた家人の予想を大きく裏切ることになった。

尚、書道始めるにあたっては、カルチャーセンターの書道教室や勤務していた会社の書道部（大概 OB にも門戸を開いている）に籍を置くことも可能で、師から直接指導で筆遣い等のテクニックを学べるメリットがある反面、日本の伝統的なお稽古事に付き物の家元制度化している弊があり、組織に付き物の人間関係の煩わしさの他にも、段位が進むごとに高額な昇段料を取られたり、手本が替わる度に先生に手本作成料を払う必要がある等聞くにつれ、そういう煩わしさとは一切無縁の通信教育を選択した経緯がある。只、通信教育の場合は折角用意されたカリキュラムを最後まで全う出来ぬ脱落者が多いのが現実で、いかにモチベーションを維持して稽古を継続するかは自身との孤独な闘いである。



料紙の前に座り筆を執る時、心気を整え雑念を排して大袈裟に言えば無念無相の境地に至る。一旦紙に墨を下ろすと後は筆に任せて一気に書き上げるしかない。事実雑念を断つことは肝要で、上手に書こう、これをコンクールの清書にしようなどの考えがよぎると顔面に失敗する。小生は少し居合をやるがこの境地は一種武道にも通じるものがある。兎も有れ、字が奇麗になり封書の宛名書きや賀状等を書くのが苦にならなくなる実利の他に、精神統一に役立ち集中力を高める効用もあるので、コロナ禍で行動が著しく制限される現在の日常において手軽に何時からでも始められる趣味としてお勧めしたい。

